

文協

長崎県文化団体協議会

BUNKY〇

Cultural Information of Nagasaki

2008.5

70



特集 誌上ミュージアム

長崎県委嘱作家美術展



はじめまして、やさしい風に揺れる緑。
ごきげんよう、まぶしい空に架かる虹。
えがきだそう、長崎で育む美の芽ばえ。



長崎県文化団体協議会

BUNKY〇

Cultural Information of Nagasaki



02

特集 誌上ミュージアム 長崎県委嘱作家美術展

◎洋画 ◎書 ◎工芸
◎日本画 ◎彫刻



08

長崎県美術展覧会事務局

09

我が街長崎のオペラ 蝶々夫人

長崎県オペラ協会 松藤 雅彦

10

第23回長崎県地域文化章

◎フェルム・ド・外海
◎長崎ハンドベルコミュニティ
◎仁駄橋綱引太鼓保存会
◎小浜ジャズオールスターズ

12

ながさき音楽祭2008

14

【長崎歴史文化博物館】 ミュージアムレストラン「銀嶺」

15

【長崎県美術館】 運河を眺める癒しのカフェ

16

アルカス通信

◎ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団

17

クレシェンド・シーハット大村だより

歌が伝える感動! ミュージカルをあなたの町に。

18

「地域の文化リーダー養成講座」に参加して

江迎町教育委員会 社会教育係 小脇 美貴

19

第38回九州芸術祭文学賞

20

第36回長崎新人演奏会オーディション

夢の舞台へ



第36回長崎県 新人演奏会

♪日時 2008年5月31日[土]

【開場】14:30 【開演】15:00

♪会場 長崎ブリックホール 大ホール

♪入場料 一般1,000円、高校生以下無料
(但し、学生入場券が必要です)

♪チケット 浜屋プレイガイド、絃洋会楽器店
くさの書店(西友道ノ尾店)、県文化団体協議会で発売。



■ゲスト
田中 南美(クラリネット)
第35回長崎県新人演奏会
グランプリ受賞

●主催 長崎県文化団体協議会 TEL.095-822-6049 長崎文化ジャンクションホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/bunka/>
●共催 長崎県、長崎市、時津町 ●協賛(財)九州文化協会
●後援 朝日新聞社、長崎新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、日本経済新聞社長崎支局、KTNテレビ長崎、NBC長崎放送、NCC長崎文化放送、NHK長崎放送局、NIB長崎国際テレビ、FM長崎、長崎ケーブルメディア、ザ・ながさき、ながさきプレス

Nagasaki Fresh Players Concert



「キッチン」

立石 真希子

直線で大胆に分割された画面に、キッチン用品の無造作な配置がおもしろく、左右の鍋のカットが画面の広がりを感じさせる。また、中央の菜箸や用品の取っ手が空間感を醸し出している。色はシンプルで、キッチンに差し込む淡い光とステンレスの質感を見事に捉えた作品である。女性なら誰もがいつでも目にする光景であろう。その光に目をとめ、その美しさをとらえた作品である。この「キッチン」は、彼女が数年前から取り組んでいるモチーフであり、中央でも数々の大賞を手に入れている。将来が大いに期待できる作家である。

(溝川 純浩)

「農魂」

佐藤 利宗

その土地に生まれ育ち、逞しく土に生きる人生をテーマとした彼の作品には今では忘れられた故郷の懐かしさと微笑を感じる。耕運機の前で杖を片手に腰をおろし、疲れを癒す老農夫にはどこことなく哀愁が漂い、そのデフォルメされた手足は、土に生きる厳しさに耐え、長い人生を生き抜く力強さを感じさせてくれる。色調も淡いブラウン系でまとめられ、耕運機とシャツの白さのコントラストが画面全体を引き締めている。また、右上の遠景が画面に広がりを持たせ、見る人の快い安堵感を与えてくれる。

(溝川 純浩)



「ボットと薪ストーブ」
平野 満也



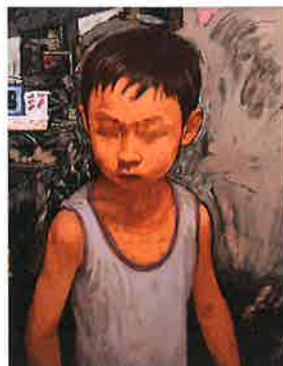
「長崎の港(沈黙)」

坂口 昭美



「その先に見えるもの」

西平 耕治



「ガラスの花」

松浦 和子



長崎県委嘱作家美術展

誌上ミュージアム

平成20年に行われた長崎県在住の優れた作家の約200点の作品を展示した長崎県美術展覧会委嘱展。ここでは、その中からいくつかの作品をピックアップしてご紹介します。

Sculpture

Japanese painting

Craft

Oil painting

Writing

BUNKY

Museum in Paper

Nagasaki Art Exhibition



「煽風」

中村 慎

波佐見焼、三川内に代表される県内地場産業を背景とした磁器の若い作家が、このように大きく成長している事は大変喜ばしい。

工芸品は完成までに沢山の工程があり、その一つ一つに高度な技術を要する、しかしながら、作品として発表するならば技術に加えて感覚が必要であるが、氏の作品は煽風をイメージ化したもので、自然の風景を連想させ力強さを感じさせ、加えて品格がある。

県展第51回・52回作品から大きく進化した作風は私達に感銘を与えた。(立井 清人)

「躍動」

山口 貴司



工芸品は私達の生活に無くてはならない道具として生産されて来たが、このような場所では、個性あるしかも芸術性にあふれた作品の発表展という事になる、山口貴司氏作品は高度なテクニックを要する磁器の大作で、日展や日本新工芸展等で高い評価を受けた。

はちきれんばかりの若さと新鮮さを感じられる。

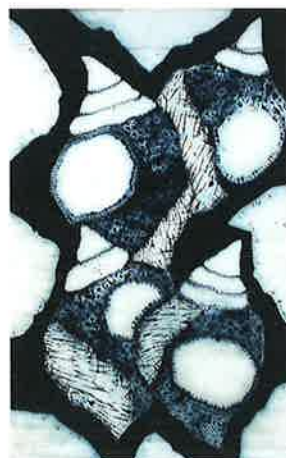
土物作家が多い県内陶芸界にあって、将来の焼き物文化を背負っていく作家の一人で、今後の活躍が期待される。

(立井 清人)

「喜愛心」 鹿谷 照子



「一つになる」 堀野 美沙子



「絆」 米原 佐代子



「野」

桐山 大綏

大胆な筆の動きは豪快で、心高まる意欲を押えられず脈々と空を切って行く。左から右に拓けた大きな屋根組みを支える縦画の重厚な柱で広い白を二分し一回転して縦画に白を持たせて、終画を押しこんだ、実に計算された快作である。(立野 松雲)



「蘇東坡詩」

堤 玉圃

書の良否は「美しい白」「終りを見よ!」と言われる。ことしの県委嘱展に出品された二点の作品に触れてみたい。先ず堤玉圃先生の漢詩の作品に足が止った。行間の白の美しさにひかれた。じっと見入ると一行目の4つの塊と中央の3つの塊に潤・渴の変化が見事である。特に山場とする中央の縦横無盡で自在な筆致は作者の近況と後輩への示範を感じた。更に三行目は自己を抑えつつ静かに収めて、落款は右に傾け品よく仕上がっている。「後輩!俺について来い!」と喝を入れられた快作だった。

(立野 松雲)

「曉露に」

寺嶋 邑浦



「萬葉集」

岩永 西峰



「近代詩」

七嶋 鷗舟



「しあわせ」

水田 陽峰



「決意」 徳安 和博

女性裸婦立像 左足を軸芯に腰に重心を置き上半身左右シンメトリーに腕を組み顔を左向きに、全体を右足先より頭部に至るムーブマン(動勢)を美しく表現した作品である。女性像に自分の気持ちを託し、作者が将来へ進むべき道、方針を強い意志で決めたい、そんな思いがこの作品に感じられる。女性らしいフォルムに呼吸している生命感があり、内面的な情感を強調した作品である。具象表現の中に新しい方向を追求する姿勢が感じられ今後が期待される。

(山崎 和國)



「静かな夏」 松尾 昌子



「遠い海」 岩本 太郎



「追想」 松永 正和

「at the border II 交錯する自己」
藤原 健太郎

男性座像 腕や脚を交叉させ顔を下向きに安定したポーズ、人の葛藤する内面の世界を表現した力作である。全体を大きなフォルムで構築し、彫刻的な空間を生み堅実な肉付け、男性の筋肉や生気が張り詰めた内面の緊張感、内側から外側に向かってエネルギーが発散するような生命感を力強く創造している。重厚にして存在感があり、独自の宇宙観を見事に表現した秀作で高く評価でき今後を注目したい。

(山崎 和國)



「閉ざされた海」 木下 昌之

諫早湾の干拓をテーマにして、見るものに強く訴えかけてくる作品である。遠くなってしまった海岸線は、先の見えない未来。海で生きてきた人々の思いを廃船に見立て、取り残された現実と、足下に不安を抱えながらも生活を続けなければならない複雑な思いを、白く光る銀箔の揉み紙に不安と希望を表現し、櫓の構成と荒い岩黒の絵の具が、漁民の力強さを感じさせる。希望ある未来に繋げて生きて欲しいという作者のエールが聞こえてくる、骨太な作品である。

(城 輝行)



「平成新山秋声」 松本 幸子



「秋日」 山口 敦子



「葡萄の図」 尾上 光賢

葡萄は葛類の中で藤と同様南画の画題としてよくとり上げられる植物である。梅や松と違い力強さが出しにくいところがある。要は余白をどう残し鉤勒(葉など輪郭線で描き中を塗っていく方法)で描くか没骨(筆に濃墨淡墨を含ませいっきに付け込むように描いていく)で描いていくかである。

この作品は実を鉤勒で描き葉を没骨で描いている。南画の没骨は力強さが表現し安い。思い切った筆さばきで葉を描いている筆をはらう様に用いているところからその表現が出来ている。実を鉤勒で描いているのでそれが準余白となり構図に落ち着きがある。

作者は近年体調をくずし一時大きな作品は無理かと思われていたが体調も回復し視力に少し不安があると言っていたが、まほ前の元気な体に戻りつつあるのが窺える。

(松尾 学)



「雁来紅と菊」 山田 正夫





1987年 全幕公演(長崎市公会堂)

蝶々夫人

我が街長崎のオペラ

長崎は歌の街。昔から長崎にちなんだ歌はいっぱいあります。ちよつと思ひ出しただけでも、「長崎の鐘」「長崎物語」「長崎の花売り娘」「長崎のザボン売り」「長崎の女」「雨のオランダ坂」「長崎は今日も雨だった」「長崎の夜はむらさき」「長崎のランタン祭り」(えつ)これはまだ出来てませんから、すぐ10本の指に余ります。

しかし何と言っても長崎にちなんだ曲のトップはオペラ「蝶々夫人」でしょう。日本広しといえども、世界的なオペラの舞台になっている街なんて長崎しかないはず。このことはとても凄く、長崎に住んでいる人たちは「それがどげんした」と、あまり感激してくれませんが、もちろん長崎が舞台になっていることだけに感激してくれというのはありません。この「蝶々夫人」はとびつきの素晴らしいオペラなのです。悲しき感動的なドラマが展開されますが、とにかく始めから終わりまで美しい音楽に彩られているのです。作曲者のプッチーニ自身、このオペラを生涯愛し続けたのです。

長崎県オペラ協会 松藤 雅彦

長崎県オペラ協会と長崎交響楽団は、プッチーニの生誕150年にあたる今年の10月25、26の両日、長崎ブリックホールで、オペラ「蝶々夫人」を全幕公演いたします。思い起こせば、1982年に地元長崎の手で「蝶々夫人」初演を果たし、1987年には今回と同じ星出豊氏の指揮で2回目の公演を行いました。1990年には長崎旅博協賛として3回目の公演が行われ、今回は長崎県オペラ協会と長崎交響楽団の組合せによる4回目18年ぶりの本公演となります。

プッチーニからかけがえない宝物をプレゼントされた長崎ですから、先ず地元の人たちがこのオペラに触れて、「蝶々さん」を愛し、定期的に公演を行えるようにします。

やがてオペラ「蝶々夫人」の聖地となった長崎を目ざして、世界中からオペラファンが訪れる日を夢見て：



オペラ蝶々夫人公演

日時 10月25日(土)18:00開演
10月26日(日)13:30開演

会場 長崎ブリックホール

お問い合わせ先 久保田 090-3663-3025

入場料 (予定)

SS席	8,000円
S席	6,000円
A席	4,000円
一般自由席	3,000円
学生自由席	2,000円



後列左より島谷さん、松尾さん 前列左より並川局長、濱井次長

長崎県美術展覧会事務局

〒850-0862 長崎市出島町2番1号 長崎県美術館内 TEL.095-825-6058 Nagasaki Art Exhibition

20年度の主な日程

20年 8月	県展公募展受付
9月	審査、長崎展
10月	佐世保展、諫早展
11月	移動展
21年 1月	委嘱展長崎展
1月	委嘱展佐世保展
1~2月	委嘱展移動展

昭和31年に始まった県展は、今年は第53回展となります。県展の益々の活性化を図るため、昨年度から各知事賞に10万円の賞金を授与することや、今年からは人材育成のための各部門の新規事業を実施します。

また、旧県現代作家美術展は今年度第4回県委嘱作家展として、今、県内第一戦で活躍している作家の作品を展示、巡回します。

事務局は通常4人体制で、県展実行委員、県委嘱作家展運営委員さんの方々と共に、県文化団体協議会・県美術館等のご支援をいただきながら仕事をすすめております。今後ともご指導ご協力をいただきますようお願いいたします。

事務局長 並川 一巳
事務次長 濱井 隆
事務局員 松尾 和代
島谷 豊子

美術館・博物館の特典お知らせ

Nagasaki Prefectural Art Museum

プレミアメンバーズ・プラン (個人会員)

長崎県美術館の個人会員として、館主催企画展・美術館コレクション展ともにフリーパスで鑑賞できるプランです。

お申し込みいただいたその場で会員証を発行いたしますので、当日から鑑賞にご利用いただけます。お申し込みは美術館1Fインフォメーションまで。

1. 会員証のご提示で、館主催企画展を1年間フリーパスでご鑑賞頂けます。
2. 会員証のご提示で、美術館コレクション展を1年間フリーパスでご鑑賞頂けます。
3. 会員証のご提示で、1Fミュージアムショップ・カフェでのご利用・ご購入が10%割引となります。
(※書籍・図録など一部商品を除く。カフェはドリンクのみ。)
4. 長崎県美術館のメールマガジンにご登録頂けます。
※月刊イベントスケジュールの郵送ご希望の方は、年間960円(¥80円×12ヶ月)にて承ります。

◎年会費

5,000円(税込)

◎お申込みに関するお問合せ

長崎県美術館
長崎市出島町2-1
TEL.095-833-2110



Nagasaki Museum of History and Culture

年間フリーパスポートのご案内



お得な常設展年間フリーパスポートへのご入会はいかがですか?

ご本人様に限り発行日から1年間、当館の常設展示室(歴史文化展示ゾーン、長崎奉行所ゾーン)を何度でも鑑賞いただけます。常設展示室は、1~2ヶ月に1回程度の展示替えも行なっております。また、会員様にはその他特典もついています。この機会にぜひご入会ください。

1. 会員様ご本人に限り、発行日より1年間常設展を何度でも鑑賞いただけます。
2. 会員様は本館主催の企画展観覧料を2割引いたします。(なお、ご本人様に限ります)
3. 年間10回以上ご来館いただくと、フリーパスポート更新時に会員証と引き換えに企画展のペアチケットを進呈いたします。(但し企画展の内容は選べません)

◎会員料金

一般 1,800円
高校生 1,200円
小中学生 900円
※継続の場合も同一料金です。

◎お申込みに関するお問合せ

長崎歴史文化博物館
長崎市立山1-1-1
TEL.095-818-8366

「フェルム・ド・外海」

代表 日字スギノ

外海地域の生活向上に尽力したド・ロ神父の精神を受け継ぎ、地域の活性化に取り組んでいます。

「フェルム・ド・外海」は、フランス人宣教師ド・ロ神父のフロンティア精神を学び、ならうため、昭和58年に結成しました。

これまで、県の地域活性化グループや農業改良普及センター等の指導をいただきながら、外海文化協会、外海ボランティア協議会などに加わり、「できるときに、できる人が」をモットーにいろんな活動に取り組んできました。教会などのコンサートや田舎と都市との交流、国際交流、

田舎体験の受入れ等の活動が評価され、今回の受賞の栄にあずかったと思います。心より感謝いたしております。これは、天国のド・ロ神父様や、すでに亡くなられた10名あまりの方々といった賞と言えます。

この賞を誇りに、これから今までの活動の他に、出津教会など外海地区の4資産を含む長崎の教会群の世界遺産本登録に向けた活動や文化財の保存・活用にも、できる範囲でがんばっていこうと思っています。



■活動歴 / 24年間
■功績事項 / 地域文化の創造・振興及び国際文化交流の推進

「仁駄橋綱引太鼓保存会」

会長 藤本 健人

青少年の健全育成と地域連帯づくりを目的として活動しており、伝統文化の継承・保存を通じて地域活性化にも貢献しています。

老岐の盆綱引きは室町時代からのもので、発祥の地・郷ノ浦町志原西触では戦後いつたん廃れ絶えかけたが、昭和55年に太鼓保存会を結成し、同57年に盆綱引きが復活した。盆綱引きは、亡者供養のためと、併せて家内安全・産業の振興発展・地域住民の協同融和を願う、長い伝

統をもつ行事で、太鼓はその綱引きのすべての進行を司る合図の太鼓である。
昭和60年から当地在住の小・中学生への伝承活動を開始し、現在会員数は44人（一般19人・高校生7人・中学生10人・小学生8人）である。

活動としては、小・中学生への伝承活動と盆綱引きの実施。その他地域行事への協力や老人施設訪問、特に思い出深いのが、平成元年の「長崎県子ども伝承芸能大会」や「第10回長崎県民俗芸能大会」等へ出演できたことである。

保存会としては、盆綱引きのときに歌ったと言われている「綱引き唄（志州盆唄）」とともに、この「盆綱引き」と「綱引太鼓」を保存伝承していきたい。



■活動歴 / 27年間
■功績事項 / 伝統文化の継承・保存

文化に香る心豊かな郷土を創るため、県内各地において地道な文化活動が続け、地域文化の向上と発展に貢献している個人及び団体に対し地域文化章を贈り、その活動と業績を顕彰するものです。

第23回長崎県地域文化章

「長崎ハンドベルコミュニティ」

会長 小國 公子

ハンドベルを通して音楽の活かされるまちづくりを推進し、豊かな人間性が育まれることを目的として活動しています。

1976年に活水中学・高等学校にハンドベルが導入され、演奏活動が始まりました。1990年、長崎旅博の企画により、韓国で行われていた第4回ハンドベル世界大会の参加国が加わり、長崎平和祈念コンサートが開催されました。その運営のため長崎ハンドベル実行委員会が

設立され、その後活動は続き1999年長崎ハンドベルコミュニティと改名し現在に到っております。活動しているチームは活水中高をはじめ13のチームですが、平素はそれぞれのチームで独自の形態で練習を重ね、諸演奏会への出場、諸施設への演奏奉仕など意欲的に活動しています。そして年に1回一堂に集まり、長崎ハンドベルフェスティバルに参加することにより、各チームとの交流、更なる技術の向上をめざし、ハンドベル活動を充実させたいと願っております。



■活動歴 / 17年間
■功績事項 / 芸術文化の振興

この度、長崎ハンドベルコミュニティは、芸術文化振興への貢献を認められ、長崎県地域文化章を戴きました。一同大変名誉なことと喜び感謝しています。今後ますます技術の向上をめざしながら、諸施設への演奏奉仕、ハンドベル九州大会、全国大会、世界大会などへの参加、更には長崎に於いて諸大会の開催を実現すべく、コミュニティ全員、力を合わせ努力していきたい、と祈念しております。

「小浜ジャズオールスターズ」

代長 森下 晃英

音楽活動を通して地域の活性化に取り組み、地域における芸術文化の振興に貢献しています。

NHKビッグバンドコンテスト出場を契機に、昭和59年本格的に演奏活動を開始し、メンバーは、現在20名で、市役所・小中高の学校の先生・看護師・商店主・会社員・住職など多種多様です。

定期コンサートをはじめ、地元小浜の湯祭り・夏祭り・音楽祭や各種イベントに出演するとともに、「日蘭交流400周年」がさき阿蘭陀年「島原ガマダスコンサート」がんばれハウステンボス等県内のイベントにも積極的に参加し、音楽活動を通して地域の活性化に取り組んでいます。最近では、4月6日の小浜温泉湯祭りに出演しました。

今後の活動としては、発足当初からの目的である「メンバーが楽しむこと、そして地域の方々に楽しんでいただくこと」をさらに充実させるため、毎年の恒例行事や訪問演奏・依頼演奏に加えて、小・中学校の brass バンドと交流したり学校訪問演奏で、青少年の健全育成にも貢献したいと考えています。



■活動歴 / 23年間
■功績事項 / 芸術文化の振興

堀内
伊吹の

ながさき音楽祭2008

ここが見処・聴処
みどころ
きどころ



ながさきから新しい音楽祭がはじ
まりました。開催された多くのス
タッフの皆さんの献身的な働きと、
演奏者の熱意に支えられて。

街に音楽が溢れていると、その街
はとても元気になります。ヨーロッパ
各地の音楽祭とは、ひと味違った音
楽イベントとして継続していきたい
ものです。現在予定されている音楽
祭2008の概要をご紹介します。

「新人・塾・記念オケ」

ながさき音楽祭の特徴は、何と
言っても県民が主役であり、出演者
の大半が長崎県民であることです。
その中核をなすのが、今年で36年続

いている長崎県新人オーディションに
合格した演奏者たちです。

10月12日には、可能性を秘めた
若きアーティストたちがOMURA
室内合奏団と共演します。そして音
楽祭のフィナーレを飾るのは、記念
オーケストラによる演奏会。今年は
アルカス佐世保で10月19日に開催。
ベートーヴェンの第九第4楽章や、
ガーシュインのラプソディ・イン・ブ
ルー、ブラームスのダブルコンチェルト
などが組まれています。2000人の
大合唱団はすでにコーラスの練習に
入っています。子供たちの合唱曲も
あり、充実した演奏会になりそうで
す。

「楽しむ音楽祭、今年も」

各地で開催される音楽会の前に
活水女子大学で講師と受講生が合
宿形式で音楽の特訓をする音楽塾
は8月26日から。24日には活水女
子大東山手チャペルで講師陣による
オープニング演奏会もあります。こ
れらの演奏会や講座を精力的に指
導される大山平一郎監督は、指揮
者として、ヴィオラ奏者として今年
も七面六皮の大活躍です。

「広がるジャンル」

言うまでもなく、音楽はクラシッ
クばかりではありません。マリ・カ
ラスと美空ひばり、どちらが偉いか
は分かりませんが、二人とも多くの
名唱を残した歌い鳥です。

さて、今年は音楽祭に新たなジャ
ンルが加わります。9月の初めは、佐
世保の街がジャズやポピュラー音楽
に染まるウィーク「街角ライブ」9月
15日、長崎県歴史文化博物館では
邦楽のコンサートが、そして9月28
日ブリックホールでは、長崎の唄を集
めたコンサートを開催。おなじみの歌
謡曲を映像とともにたつぷりと楽し
めます。

今年も盛りだくさんの演奏会が
計画されています。決して多いとは
言えないスタッフでの運営は、楽では
ありませんが、一同張り切って準備
に取りかかっています。この音楽祭が
「演奏者の笑顔とお客さんの笑顔が
出逢う場」であつたらいいなと心から
願っています。

音楽連盟運営委員長

堀内 伊吹

今年の主な出演者

8/24日 チャペルで室内楽

活水女子大東山手チャペル(15時開演)

一般2,000円
学生1,000円 (当日各500円増)



大山平一郎
ヴィオラ



上田 晴子
ピアノ



井谷 俊二
ピアノ



木村 俊光
バロン

10/19日 ながさき音楽祭記念オーケストラ演奏会

アルカス SASEBO 大ホール(15時開演)

指定席：一般3,000円 学生1,500円
自由席：一般2,000円 学生1,000円 (当日各500円増)



前田 拓郎
ピアノ



サイ・ヤンガン
ソプラノ



毛利 伯郎
チェロ



大山平一郎
指揮

9/7日 SASEBO 街角ライブ

JR 佐世保駅前～三カ町アー
ケード6ヶ所 11時～17時



9/28日 「長崎の唄、長崎の音」演奏会

長崎ブリックホール大ホール
(15時開演) 一般1,500円
学生1,000円

～希(のぞみ)～新たな「うたのまち・ながさき」を
長崎ぶらぶら節、島原の子守唄、長崎
の鐘、樺島ハイヤ節。教会の鐘、霧笛の
音、「長崎の唄と音」を長崎の財産とし
て整理し、唄に込められた情緒を共有し、
次世代につなぐための意欲的なステー
ジ。他。司会は「市ちゃん」こと市原隆靖。



10/12日 OMURA 室内合奏団& 輝きを秘めた星たち

シーハットおおむらさくらホール(14時開演)

一般2,000円
学生1,000円



江川 敦子
ピアノ



樋上 裕子
ピアノ



田中 南美
クラリネット



吉田 瞳
ソプラノ

上柿元 勝 総合プロデュース 運河を眺める癒しのカフェ

長崎県美術館の美術館棟とギャラリー棟を結ぶ運河の上にある「橋の回廊」。ここにガラスに囲まれ、長崎の風景や運河を眺めながら、「味の芸術」を楽しんでいただけるカフェがあります。



カフェオリジナルスイーツ人気ベスト3

第1位 デンマーク産のチーズを使った
ライム風味のチーズケーキ

ライムの酸やかな酸味と風味を生かした、スフレタイプのチーズケーキです。コーヒー、紅茶との相性抜群です。

第2位 ショー “ドンドン”

高級チョコレートに、香ばしくキャラメリゼしたくるみを添えました。スパークリング・ワインと一緒にどうぞ。

第3位 県内産トマトを使ったタルト レモン風味

県産トマトをゆっくり時間をかけコンフィに仕上げ、チーズとクリームと一緒にタルトに焼き上げました。グラスワインで味わってください。

その他主なメニューは、牛肉と野菜の煮込みカレー(800円)、スパゲティマトソース パジリコ風味(800円)など



長崎県美術館 FB プロデューサー
上柿元 勝 氏



2007年秋、食と芸術の融合をテーマとした、より質の高い美術館カフェのために、フランス料理界の巨匠・上柿元 勝氏が長崎県美術館のFB(フード&ビバレッジ)プロデューサーに就任しました。

上柿元氏は、長崎県観光マイスターであり、フランス料理界の巨匠で世界的に著名なシェフです。長崎の素晴らしい食材を使って、皿の上で表現されたアート料理はまさに消えていく芸術です。「美味しい美術館」では、美術館オリジナルスイーツや県内産の野菜を使ったフードメニュー、おいしいコーヒーが楽しめる、夜は落ち着いた雰囲気です。スペインのビールやスパークリング・ワインも味わえます。

美術鑑賞の合間に、カフェでゆったりとした時間を過ごしてみませんか?

カフェはフリースペース(入館無料)ですので、ランチや待ち合わせなどの利用もできます。座席数40席、テーブル席やバーカウンター席をご希望でお選びください。



昭和5年の創業以来受け継がれた、変わらぬ料理と数々のアンティーク ミュージアムレストラン「銀嶺」

昭和5年に創業のレストラン「銀嶺」が、博物館の開館とともに復活。店内はこれまでオーナー自ら集めてきたランプなどのアンティーク雑貨の数々が配され、ちょっとした美術館のような落ち着いた雰囲気です。

「町に教会と美術館とカフェがあればそこは街になる。」という初代オーナーの言葉を守りつづけて、今、長崎の歴史と文化を紡ぐ博物館とともにある「銀嶺」。緑豊かな諏訪の森に集う人達の素敵な出会いの場として、博物館の展示をご覧になった後などにぴったりのレストランです。

もちろん、創業以来変わらぬ味わいのデミグラスソースを使った伝統の味や季節の食材を用いたオリジナルのメニューも堪能していただけます。また、博物館で開催される展覧会にあわせたスイーツやクリスマスディナーなど特別限定メニューも見逃せません。

諏訪の森の季節の移ろいを感じることが出来るロケーション、アンティークに囲まれた落ち着いた空間で、伝統の味と雰囲気をお楽しみください。

レストラン「銀嶺」はフリースペース(入館無料)ですので、ランチや待ち合わせなどにもご利用できます。また、ご予算に応じたコース料理や、事前にご予約をいただくと各種パーティーなどでの貸切り使用も承っております。(営業時間10:30~21:00)



「銀嶺」人気メニュー

ランチ トルコライス 1,000円

再オープンにあたって新メニューとして登場したトルコライスは、柔らかいヒレ肉を一枚一枚丁寧にカットし、旨味を封じ込めとても美味

ディナー タンシチュー 1,700円

創業以来変わらぬ味わいのデミグラスソースを使った伝統の味

スイーツ 自家製ババロア

なめらかな舌触りで人気のメニュー

その他のメニュー

【ランチメニュー】 ●銀嶺ランチ 900円 (お肉料理の週替りランチ) ●ビーフカレー 850円 【ディナーメニュー】 ●牛フィレ肉のジュースステーキ 1500円 ●ハンバーグステーキ 900円 ●サーモンステーキ 950円	【スイーツ】 ●カステラセット 650円 その他、ディナーメニューはお好みに応じてお選びいただけるメイン料理に、ライス・スープ・サラダなどを自由に組み合わせさせていただくスタイルです。
---	---

※メニューの内容は変更することがあります。

Exhibition

「永井敬二コレクションより
エンツォ・マーリの100のプロジェクト」展

エンツォ・マーリの仕事

■会期：6月14日(土)～9月7日(日)

デザインの本质を常に問いながら、計画、製造など携わる人々全てにとっての創造的な活動とはなにかと模索し、その功績が高く評価されているイタリアデザイン界の巨匠エンツォ・マーリの作品を、永井敬二コレクションを中心に波佐見焼の職人たちの共同開発などを交え紹介します。監修：城谷耕生



Enzo Mari, Center dish "MODEL-S", 1973, Danese Milano, Italy
永井敬二氏蔵 ©知臨たかし

＜お問い合わせ＞
長崎市出島町2番1号 TEL.095-833-2110
http://www.nagasaki-museum.jp/

長崎県美術館



※毎月第2・第4月曜日(祝日の場合は翌日)は休館日、開館時間は10:00～20:00です。

Exhibition

ヴィクトリア&アルバート美術館は、大英博物館と並んでイギリスを代表するミュージアムです。そこには25,000点を超える膨大な浮世絵コレクションが含まれており、今回はその中から厳選された約170件の作品をご紹介します。春信、歌麿、北斎、広重ら著名な作家の里帰りした名品の数々をお楽しみください。



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」
©V&A Images/Victoria and Albert Museum

初公開 浮世絵名品展

■会期：6月1日(日)～7月13日(日)
■観覧料：一般1,000円 大学生70才以上800円
高校生600円(中学生以下無料)

ヴィクトリア&アルバート美術館所蔵

ノリタケデザイン100年の歴史

オールドノリタケからディナーウェアまで

■会期：4月12日(土)～6月1日(日)
■観覧料：大人900円 高校生以下450円
(未就学児無料)



オールドノリタケの数々(※ノリタケカンパニーリミテド所蔵)

日本の洋食器メーカーの先駆けといわれるノリタケカンパニーリミテド。明治から昭和初期に製作された「オールドノリタケ」と呼ばれる優雅で華やかな花瓶や壺、初公開のデザイン画帖などを多数展示し、その100年の歴史に迫ります。

＜お問い合わせ＞
長崎市立山1-1-1 TEL.095-818-8366
http://www.nmhc.jp/
※毎月第3火曜日(祝日の場合は翌日)は休館日、開館時間は8:30～19:00です

長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

Exhibition

江戸時代、海外との交流の窓口だった長崎。その歴史と文化は日本の海外交流の歴史ともいえます。本展覧会では、博物館が所蔵する貴重な美術・歴史資料とライデン国立民族学博物館の資料の数々を、様々な角度からスポットをあてて紹介いたします。



湖辺遊禽図(司馬江漢筆、部分)

Exhibition

■会期：6月14日(土)～8月31日(日)
※休館日の他、展示替のため企画展を中止する場合があります。

江戸のタイムカプセル展

長崎歴史文化博物館、ライデン国立民族学博物館
コレクションより



「キッズ・ミュージカル」の参加者



『歌が伝える感動!』—シーハットミュージカル劇団「夢桜」—

ミュージカルをあなたの町に。』

シーハットミュージカル劇団「夢桜」の2回目の発表会となる「キッズ・ミュージカル」を4月6日にさくらホールで行いました。

残念ながら、この原稿は3月初めに書いていますので本番の状況はわからないのですが、きつと満席で好評のうち終わったものと思います。ところで、今回の公演はブロードウェイミュージカルの某作品の中から歌をピックアップして構成したもので、その目的は歌唱力の向上です。昨年3月に行った劇団の1回目の発表会は、劇団自らの手で戯曲、演出、作曲、振り付けなど全てを仕切って上演することが目的でした。

今回は、ステップアップして「歌唱力」に磨きをかけて作品にさらに感動を付け加えることにより、これまで進めてきた市民ミュージカルの域から抜け出て、大村以外の地域でも、また、一般のお客さまからも感動していただける...そういうミュージカル劇団として成長していくことを目標としています。

今年度は、来春に「天正遣欧使節ミュージカル」の再演を計画しています。昨年の作品に若干、手を加えて、キャストも入れ替えて、抜群の「歌唱力」により初演を大きく上回る

(財)大村市振興公社 事業部長 藤崎 澄雄

感動を与える公演として上演していきたいと考えています。

また、再来年にはこれまでの一連の市民ミュージカルの取組の仕上げとして、OMURA室内合奏団のアンサンブルによる生演奏で行うオリジナルの児童向けミュージカルを計画しています。4月から脚色・演出家の菊池准さんを招いて「戯曲講座」を毎月開き、本年中に本を仕上げ、作曲、稽古、本番とつなげていきます。というわけで「シーハットおおむら開館10周年」を迎え、大村で自主事業に取り組みが始まって10周年の平成20年は、「天正遣欧使節ミュージカル」の再演に向けて活動しながら、再来年の「生伴奏ミュージカル」の戯曲仕込みと慌ただしくも欲張った1年となりそうです。

今年、11月に「列福式」が本県で行われます。シーハットおおむらの「天正遣欧使節ミュージカル」は、中浦ジュリアンが主人公の市民ミュージカルです。本公演は2時間余りの大作ですが、ピックアップしてのミニ上演も可能ですので、「列福式」関連のイベントをご検討のところがございます。ぜひご一報ください。

ブラームス、チャイコフスキー、ドヴォルザーク、R.シュトラウスが自身の作品を指揮。130年以上の歴史を持つドイツの名門オーケストラが、世界的ピアニスト 中村紘子にソリストを迎えてお届けする、ベートーヴェンプログラム。

ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団



ピアノ：中村紘子



指揮：ラファエル・フリーベック・デ・ブルゴス (芸術監督・首席指揮者)



プログラム

- ◎ ウェーバー 作曲：歌劇「オベロン」序曲
- ◎ ベートーヴェン 作曲：ピアノ協奏曲第5番「皇帝」(ソリスト：中村紘子)
- ◎ ベートーヴェン 作曲：交響曲第7番

6/27 金
■開場 18:30 SS席=8,000円 S席=6,000円
■開演 19:00 A席=5,000円 B席=4,000円
(全席指定・消費税込み・各席学生半額・当日500円増)

会場：アルカスSASEBO大ホール

130年以上の歴史を持つドイツの名門オーケストラ「ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団」の起源は、今をさかのぼること500年、15世紀までさかのぼります。宮廷のお抱え楽士から独立した演奏家たちは、市の音楽振興事業として活動を続け、1870年ドレスデンに初めて市民のためのコンサートホールが開館したことにより、オーケストラとして成立。1915年、正式に楽団名称を「ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団」と改め、2005年に創立135周年を迎えました。

135年の歴史の中で、ブラームス、チャイコフスキー、ドヴォルザーク、R.シュトラウス等の作曲家が、自身の作品を指揮し、また、ニキシュ、アーベントロート、ヨッフム、カイルベルト、E.クライバー、クナッパッツブッシュ、コンヴィチニ、ニール等錚々たる顔ぶれがその指揮台に登場し、またマズア、ブラッソン、ヤノフスキ等が首席指揮者を務めてきました。1909年にはドイツのオーケストラで初めてとなるアメリカ演奏旅行を、また、1930年代にブルックナーの交響曲全曲の初稿版を初めて演奏し、これによりブルックナー・オーケストラの名でも親しまれました。2004年、今回の公演の指揮者でもあり、スベ

イン国立交響楽団、モントリオール交響楽団、ウィーン交響楽団、ベルリン放送響の首席指揮者を歴任したラファエル・フリーベック・デ・ブルゴスが芸術監督及び首席指揮者に就任。その活動はヨーロッパにとどまらず、世界各国で熱い喝采を浴びています。

佐世保公演では、今回2度目の来佐となる中村紘子がベートーヴェン作曲のピアノ協奏曲第5番「皇帝」でソリストとして登場、オーケストラと共演します。

中村紘子は1965年ショパン・コンクールで日本人初となる入賞(最年少賞を同時受賞)を果たして以来、来年デビュー50周年を迎える日本のピアニストの代名詞とも言える存在で、その演奏は国内外3,500回を超える演奏を通じて聴衆を魅了し続けています。ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団とは社会主義時代に共演した経験を持ち、今回の共演を「旧い友だちがどんな風

に変わっているのか、再会を楽しみにしています。」とインタビュで応えています。

今回、ベートーヴェンの「皇帝」と「交響曲第7番」という、クラシックファンだけでなく、一度は耳にしたことがあるプログラムをお届けします。クラシックは、オーケストラは敷居が高いと感じている方にこそ、「皇帝」で奏でられるピアノとオーケストラの見事な、色彩的な音の広がり、圧倒的で心躍らせる旋律に触れていただきたい内容となっています。ぜひ皆さんでお越し下さい。



※「ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団」公演は、長崎県教職員互助組合「芸術鑑賞・スポーツ観戦補助事業・芸術鑑賞等元気回復事業補助」に指定されています。アルカスSASEBOの窓口でご購入の際は、「芸術鑑賞等元気回復事業補助金請求書」をご提出下さい。



前列右から3人目が松田るんをさん、その左に小石丸佳代さん、立松和平さん、村田喜代子さん



松田るんをさん(九州芸術祭文学賞佳作受賞)

第38回 九州芸術祭文学賞

第38回「九州芸術祭文学賞」は、福岡市の小石丸佳代さんの「ダンス」が最優秀作に、長崎県の松田るんをさんの「ティッシュの箱」が佳作に選ばれ、第34回以来4年ぶりの最優秀作・佳作のセット受賞となりました。

平成19年度は九州各県から284編の応募があり、9月10月にかけて、8県と福岡市・北九州市の10地区で地区審査を行いました。長崎地区選考会は、10月に川道岩見、小西宗十、定来文彬の3選考委員により実施され、応募33作の中から、地区優秀作「ティッシュの箱」(松田るんを)、次席「さよ」(西村紗紀子)、地区奨励賞「町絵師」(小枝杏子)の3作品が選ばれました。地区優秀作10編での最終選考会は、作家の五木寛之、立松和平、村田喜代子、文芸評論家の秋山駿、「文学界」編集長・船山幹雄の5氏が出席して1月28日東京で開かれました。2時間あまりに及ぶ熱心な討議の結果、福岡市の小石丸佳代さんの「ダンス」が最優秀作に、長崎県の松田るんをさんの「ティッシュの箱」が佳作に選ばれました。



最優秀作「ダンス」(小石丸佳代さん・福岡市)
佳作「ティッシュの箱」(松田るんをさん・長崎県)

第39回「九州芸術祭文学賞」作品募集については、5月1日から募集開始、応募締切は8月31日(必着)。多くのみなさまの応募をお待ちしております。

詳しくは長崎県文化振興課文化事業推進班 まで。

TEL.095-895-2762

学賞です。佳作「ティッシュの箱」は、「文学界」編集長の船山幹雄さんの最終選評で次のようなコメントを貰っています。「アイちゃん」の存在に哀切さがある「普通の人の生の気分を、うまく描いている」と評価された。特に主人公が長崎県の見知らぬ川の土手を、アイちゃんの運動靴を借りて走る場面は感動的であった。しかし構成の難(東京の部分が長すぎたのでは)が指摘され、事故に頼りすぎた描き方が化学調味料入れすぎたチャンポンのようでもある、受賞までは至らなかった。ぜひ、松田さんの次作を期待します。なお、小石丸佳代さん、松田るんをさんの作品は、作品集の単行本に収録、販売されています。



第3回ミニコンサート
(江迎町高齢者福祉センター「いきいき」)



講師:
上段 米田耕司長崎美術館長
下段 町田雅之平戸文化協会長



第3回ミニコンサート(江迎町高齢者福祉センター「いきいき」)

「地域の文化リーダー養成講座」に参加して

江迎町教育委員会 社会教育係 小脇 美貴

去る3月20日、高齢者福祉センターにおいて「地域の文化リーダー養成講座」受講生による春うららコンサートを開催いたしました。地域文化を担う文化団体、文化施設職員、行政担当職員が受講し実践講座として行いました。

自分たちで企画・運営し開催したこのコンサートは、私たち受講生にとって貴重な体験となり共に多くのことを学び、改めて音楽の素晴らしさと心の豊かさを味わうことができました。

3回の短期講座でしたが、ゴードイナーの堀内伊吹先生、プロの演奏家の方々、そして先輩方の指導をいただき、大変充実した内容で私たちが実際に企画・運営する上でのノウハウを知ることができました。

さらに、私たち受講生が互いにネットワークを持つことができたことは、今後地域の文化事業を推進していく上で大変貴重な財産になることと思います。

学びたいという気持ち、そして学べきことをこの「地域の文化リーダー養成講座」で得ることができました。このような機会に恵まれたことに感謝しております。

第1回講座(松浦市民会館)



旅する長崎学

日本近代化の原動力となり、そのさきがけとしての役割を果たした長崎の姿を描き出す「近代化ものがたり編」は全4巻。



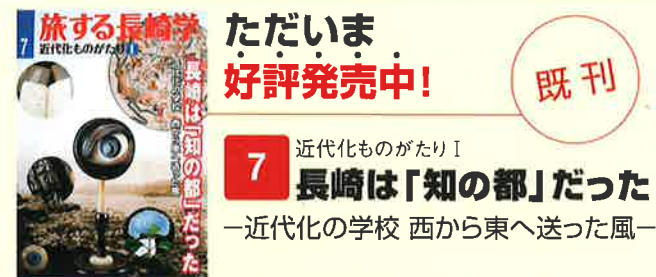
好評発売中!
近代化ものがたり編
新刊情報



8 近代化ものがたりII
長崎は野外産業博物館
—近代化遺産の宝庫 長崎県を歩く—

- 長崎に残る近代化遺産の造形美に大接近
- 日本近代産業の夜明けは長崎の造船・炭鉱から
- 鎖国の窓「出島」の町から近代日本の「扉」となった長崎
- 人の流れを作ったレールロード 東京、海外までつながった
- 国防の要衝として重視された長崎は「西の守り」の最前線

■A5判 ■オールカラー ■64ページ ■600円(税込) ■企画:長崎県 ■制作・販売:長崎文献社 095-823-5247



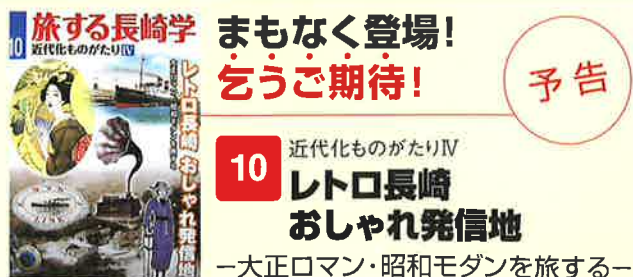
ただいま
好評発売中!

7 近代化ものがたりI
長崎は「知の都」だった
—近代化の学校 西から東へ送った風—



9 近代化ものがたりIII
西洋と東洋が会った長崎居留地
—長崎らしさを生んだ異文化交流—

- 居留地を舞台に活躍した異国人たち
- 長崎居留地の整備から近代化がはじまった
- 唐人屋敷の中国人、新天地の外国人居留地へ
- 長崎の国際墓地に眠る20カ国1500人の人々
- 長崎居留地時代に生まれた「恋愛物語」



まもなく登場!
乞うご期待!

10 近代化ものがたりIV
レトロ長崎 おしゃれ発信地
—大正ロマン・昭和モダンを旅する—

たびなが **旅する長崎学** たびなが 検索 **今すぐアクセス!**
●お問い合わせ先:長崎県文化振興課 **TEL.095-895-2764**
●パソコン▶▶▶ <http://tabinaga.jp>
●モバイル▶▶▶ <http://tabinaga.jp/m>



宮本絵理子
(ピアノ)



芹田 碧
(ヴァイオリン)



大谷 裕子
(ソプラノ)



富田 篤史
(チューバ)



山口さやか
(サクソフォン)

Result of Audition



松浦 知佳
(ヴァイオリン)



高橋 佳里
(ピアノ)



入野野秀美
(ヴァイオリン)



本多 勇己
(クラリネット)



窪田 脩子
(ピアノ)

第36回 長崎県新人演奏会

5/31土 開場 14:30
開演 15:00

- 会場 長崎ブリックホール 大ホール
- 入場料 一般1,000円、高校生以下無料
- チケット 浜屋プレイガイド、絃洋会楽器店、くさの書店(西友道ノ尾店)、県文化団体協議会で発売
- 主催 長崎県文化団体協議会

優秀賞の10人は、5月31日長崎ブリックホールで開く演奏会に出演、グランプリを目指すことになります。また、演奏会には、昨年(35回)演奏会でグランプリを受賞した田中南美さんがゲスト出演します。

結果は、声楽1人、弦楽器3人、管楽器3人、ピアノ3人が優秀賞。大山平一郎審査委員長サンタバール室内合奏団首席指揮者は、総評で「ただ、楽譜を追うだけでなく、作曲者の意図を理解することが再現芸術としての音楽の完成に繋がる」と述べました。

県新人演奏会オーディションが3月13、14日とぎつかりーホールで開かれ、本選に出場する優秀賞の10人が決定しました。オーディションには、声楽、ピアノ、管楽器、弦楽器、ギター、の5部門に計56人が応募、あこがれの長崎ブリックホールの大舞台を目標に競われました。



田中 南美<ゲスト>
(クラリネット)

編集後記

Editor's Postscript

○長崎では『新人演奏会』と呼ばれる、毎年違った花が咲く。昨年はこの品種改良に成功し、今年も大きな蕾が膨らみつつある。その名は『ながさき音楽祭』。前者を一年奏(草)と例えるなら、後者は多年奏(草)と言えようか。先ずは5月末に見ごろを迎える新人演奏会からご覧あれ。(柏)

○今回から新しく編集長となりました。不慣れですが、執筆者等の御協力を得て何とか発行出来、ほっとしています。文協は、県内の文化情報誌ですので、いろいろな情報をお待ちしています。(宏)

70 文協
BUNKY
Cultural Information of Nagasaki

第70号(2008)平成20年 5月発行

発行/長崎県文化団体協議会
住所/〒850-8570 長崎市江戸町2番13号
長崎県文化・スポーツ振興部 文化振興課内
TEL/(095)822-6049
FAX/(095)829-2336
編集/長崎県文化団体協議会事務局
印刷/株式会社 昭和堂

報告
第36回長崎県新人演奏会オーディション
優秀賞10人が新人演奏会に出演